



「2016 セレクト USA (SelectUSA) 対米投資サミット」 参加登録開始

イノベーションに焦点を当てたサミット
日本の中小企業や多国籍企業等に米国の最新投資情報を提供

2016年6月19日から21日までワシントンDCで開催される「第3回セレクトUSA (SelectUSA) 対米投資サミット」の参加登録を開始したことをお知らせします。今回のサミットのテーマは「The Innovation Advantage」です。世界中の投資家に全米各地への投資機会をご紹介するとともに、著名なビジネスリーダーや政府要人からは、最新のイノベーションや動向に関する見解をお話しいただく予定です。

セレクトUSAは、5年前にオバマ大統領が発足させ、政府一丸となって取り組むプログラムです。当プログラムを主管する米国商務省のペニー・プリツカー長官は、「世界のビジネスリーダーは、3年連続で米国を魅力ある投資先の第1位に挙げています。活力溢れる革新的な文化、高い技能と生産性を有する労働力、魅力的な消費市場など、米国が有する最大の強みの一端を明らかにする機会、それがセレクトUSA対米投資サミットです」と述べています。

2015年のセレクトUSA対米投資サミットには、70以上の海外市場から企業や経済団体などが参加したほか、全米50州、ワシントンD.C.、プエルトリコ、グアムから経済開発組織(EDOs)などの代表も参加し、何千人もの方々にお集まりいただきました。2016年サミットはこの大成功を受けての開催となります。



第2回 SelectUSA 投資サミットで
新浪剛史サントリーホールディングス社長と語る
トム・ドナヒュー全米商工会議所会頭
(2015年3月、ワシントンDC)

日本からは、サントリーホールディングス株式会社の新浪剛史・代表取締役社長や日産自動車株式会社の志賀俊之・副会長をはじめ、約90名の財界人で構成される代表团にご参加いただきました。新浪社長には全体会議でスピーチしていただき、志賀副会長からは、1億5,000万ドルを投じてテネシー工場を拡張し、1,000名を追加雇用するという発表がありました。在日米国大使館商務部は多数のイベントを開催し、日本代表団の新規コネクション開拓と投資機会の拡大を支援しました。また佐々江駐米日本国大使とケネディ大使の共催により、日本大使公邸でレセプションが開催され、ペニー・プリツカー商務長官、テリー・マコーリフ・バージニア州知事、ラリー・ホーガン・メリーランド州知事、日産の志賀副会長、米連邦議員2名に出席いただきました。

ケネディ大使は「昨年は日本代表団と共にサミットに参加しましたが、当サミットは、規模を問わずすべての投資家にとって絶好の機会となります。環太平洋パートナーシップ協定の実施を控えた今年のサミットは、より一層重要なものとなります」と述べています。

日本を代表する経営者の一人であり、2015年サミット全体会議でスピーカーも務められたサントリーホールディングスの新浪社長からは、「サントリーホールディングス株式会社は米ビーム社(現ビームサントリー)の買収で、スピリッツ市場において世界3位となり、米国でのシェアも大幅に増加しました。米国は、イノベーションとダイバーシティを原動力に、困難な状況下でも経済を回帰軌道に乗せるパワーがあります。また、米国政府の海外企業の受け入れ体制や安定した資本市場は大きな魅力であり、サントリーのグローバル化を見据えた長期的展望で米国に投資しました。」との言葉をいただきました。

米国への事業進出や米国での事業拡大を考えるあらゆる規模の国内外企業に加え、米国の州・地域・地方レベルのEDO、経済団体、サービス提供事業者、事業投資を支援するその他機関の参加が予定されています。著名な企業経営者、政府要人やその他専門家が登壇するプログラムに加え、米国のEDOが単独あるいは共同でブースを出展し、各地域の魅力を紹介して、投資家と直接交流する予定です。参加者はサミットでの議案を提案し、サミットに先立ち開催されるセレクトUSAアカデミーに参加することも可能です。同アカデミーでは、米国への投資や投資拡大に関する基本情報を提供します。ご関心のある方は、www.selectusasummit.usにて詳細情報をご確認ください。

お問い合わせは SelectUSAJapan@trade.gov

(電話：03-3224-5065/06-6315-6035) まで。